

# 俳人 能村登四郎とその水脈 ～林翔・伊藤白潮とともに

同時開催 井上ひさしの戯曲「小林一茶」 / 水木洋子の生誕100年

2010年(平成22)10月23日(土)～2011年(平成23)2月24日(木)

## 1 能村登四郎の生涯と作品

### 【色紙・短冊・軸装作品】

- 色紙「春ひとり槍投げて槍に歩み寄る」
- 色紙「火を焚くや枯野の沖を誰か過ぐ」
- 色紙「ひらく書の第一課さくら濃かりけり」
- 色紙「子にみやげなき秋の夜の肩ぐるま」
- 色紙「ひとゝきの水を薫らす流し雛」
- 色紙「露や妻に与へしものゝ何あらむ」
- 短冊「初あかりそのまゝ命あかりかな」
- 色紙「どちらか前かあきかぜの浮御堂」
- 色紙「火取虫男の夢は眠るまで」
- 色紙「春潮の遠なる能登を母郷とす」
- 色紙「流し雛見えなくなりて子の手取る」 \* 2
- 掛軸「國東や枯れていづくも仏みち」
- 掛軸「老残のこと伝はず業平忌」
- 掛軸「鎌研いでわすれしころの雪降らす」
- 拓本「ひらく書の第一課さくら濃かりけり」  
市川博物館友の会拓本部制作 \* 4
- 色紙「しなやかに新蕈になふ月あかり」 \* 2
- 色紙「鎌研いでわすれしころの雪降らす」 \* 2
- 色紙「その朝のしづく始め八杣若葉」 \* 2
- 色紙「紐すこし賞ひに来たり雛納め」 \* 2
- 色紙「國東や枯れていづくも仏みち」
- 色紙「ながらへて見る秋空の鮮しき」 \* 2
- 色紙「ぬばたまの黒鉛さはに良寛忌」 \* 2
- 短冊「葛飾は霜に芦伏す初景色」 \* 2
- 掛軸「火を焚くや枯野の沖を誰か過ぐ」
- 掛軸「幟立つ男の国の甲斐に入る」 \* 2
- 掛軸「遠くより見る雪の日のあそびかな」 \* 1

### 【自筆資料】

- 「句帖」 1991年(平成3)～1994年(平成7)
- 能村登四郎「水原秋櫻子」自筆原稿 1975年(昭和50)頃
- 能村登四郎「同窓会」自筆原稿  
参考展示：『同窓会 創立七十周年記念われわれの  
旧制市川中学時代』2006年(平成18)11月
- 能村登四郎「枯野の沖(原本)」自筆原稿
- 能村登四郎「咀嚼音(原本)」自筆原稿
- 能村登四郎「秋口」自筆原稿 1997年(平成9)11月

- 能村登四郎「俳句講座」「俳句とのめぐり合い」  
「俳句のある人生」自筆原稿ほか
- 能村登四郎「南国炎天行」「滄浪」「心づくしの秋」「求菩提」  
自筆句稿

- 能村登四郎宛波多野完治書簡 1993年(平成5)5月
- 能村登四郎宛伊藤白潮書簡 1989年(平成元)7月11日  
句集『菊塵』寄贈の礼状

### 【句集】

- 『咀嚼音』1954年(昭和29) 近藤書店
- 『咀嚼音』普及版 1956年(昭和31) 近藤書店
- 『定本 枯野の沖』1976年(昭和51) 牧羊社
- 『合掌部落』1957年(昭和32) 近藤書店
- 『句集 民話』1972年(昭和47) 牧羊社
- 『幻山水』1975年(昭和50) 永田書房
- 『有為の山』1978年(昭和53) 永田書房
- 『冬の音楽』1981年(昭和56) 永田書房
- 『天上華』1984年(昭和59) 角川書店
- 『寒九』1987年(昭和62) 角川書店
- 『菊塵』1989年(平成元) 求龍堂
- 『長瀟』1992年(平成4) 角川書店
- 『易水』1996年(平成8) 朝日新聞社
- 『芒種』1999年(平成11) ふらんす堂
- 『羽化』2001年(平成13) 角川書店
- 能村研三編『能村登四郎全句集』

2010年(平成22) ふらんす堂

### 【評論・その他著作】

- 『鳩の手帖』1983年(平成58) 牧羊社
- 『現代俳句作法 若い人たちのために』  
1958年(昭和33) 角川書店
- 『欧州紀行』1995年(平成7) ふらんす堂
- 『伝統の流れの端に立って』1972年(昭和47) 永田書房
- 『花鎮め』1972年(昭和47) 永田書房
- 『秀句十二か月』1990年(平成2) 富士見書房

### 【その他創作資料・蔵書】

- 能村登四郎作 人形 大正後期～昭和初期 紙粘土 \* 1
- 『市川馬酔木会 34年度作品』  
1960年(昭和35) 市川馬酔木会
- 『沖 創刊号』1970年(昭和45)10月号 沖発行所
- 『沖』記念号 創刊10周年～30周年 沖発行所  
1980年(昭和55)～2000年(平成12)

## 2 林翔の生涯と作品

### 【色紙・短冊・軸装作品】

- 色紙「今日も干す昨日の色の唐辛子」  
色紙「梅雨ふかき声はげましつ教師われ」  
色紙「交友七十年遂に君逝く青葉雨」  
色紙「光年の中の瞬の身初日燃ゆ」  
色紙「こどもの日小さくなりし靴いくつ」  
掛軸「リラ挿せば羽ばたき過ぎし月日かな」○ \* 1  
額「竹馬に土まだつかず匂ふなり」 \* 1  
大色紙「裸子よ汝も翳持つ肩のほね」 \* 2  
拓本「梅雨ふかき声はげましつ教師われ」  
市川博物館友の会拓本部会制作 \* 4

### 【自筆資料】

- 林翔「句集 光年」自筆原稿 2004年(平成16)4月  
「俳句 自選集」1999年(平成11)～2004年(平成16)  
「俳句 自選集」1987年(昭和62)～1992年(平成4)

### 【句集・評論】

- 『和紙』1970年(昭和45) 竹頭社  
『寸前』1975年(昭和50) 牧羊社  
『石笛』1981年(昭和56) 牧羊社  
『幻化』1984年(昭和59) 角川書店  
『春菩薩』1989年(平成元) 富士見書房  
『あるがまま』1997年(平成9) 朝日新聞社  
『光年』2004年(平成16) ふらんす堂 \* 1  
『林翔集』1981年(昭和56) 俳人協会 \* 1  
『芭蕉と現代俳句』1995年(平成7) 角川書店 \* 3

### 【その他創作資料・愛用品など】

- 文房具 拡大鏡 印箱 落款  
林翔 詩歌文学館賞受賞 資料  
林翔句碑の絵葉書「万緑に 白を研ぎ出す 早瀬波」\* 5  
「林翔 俳句展」ちらし  
2005年(平成17) 市川市木内ギャラリー \* 5

### 以上の資料の無印は、林みよ子氏提供

- \* 1 - 能村研三氏提供  
\* 2 - 淵上千津氏提供  
\* 3 - 伊藤卓氏提供  
\* 4 - 市川博物館友の会提供  
\* 5 - 文学プラザ所蔵

『沖』1987年(昭和62)5月号(通算200号) 沖発行所  
『沖』1991年(平成3)7月号(通算250号) 沖発行所  
NHK教育テレビ「俳句講座」のテキストと台本  
1986年(昭和61)4月～1987年(昭和62)日本放送出版協会  
「沖創刊35周年記念 登四郎・翔・耕二 学園句碑除幕式」  
リーフレット 2005年(平成17) 沖俳句会  
「能村登四郎「春ひとり」句碑除幕式」リーフレット  
1998年(平成10)10月  
「創立30周年 記念式典のしおり」  
2009年(平成21) 市川市立南新浜小学校  
能村登四郎が出演したテレビ番組の台本  
能村登四郎の俳句が掲載された教科書  
能村登四郎特集をくんだ俳句総合雑誌  
『俳句』『俳句研究』『俳壇』『俳句現代』『俳句朝日』  
林翔及び「沖」の女流俳人らを紹介した俳句雑誌  
坂口綱男撮影『現代俳人の肖像』  
1993年(平成2) 春陽堂書店  
『アサヒグラフ』1988年(昭和63)7月20日増刊号  
朝日新聞社  
山本安三郎『曾良 奥の細道遊行日記』  
1943年(昭和18) 小川書房  
『ホトトギス』1930年(昭和5)6月号 ほととぎす発行所  
師匠である水原秋櫻子の句集ほか  
登四郎句集・作品紹介のある書籍  
登四郎と関わる俳人の句集ほか  
『馬酔木』1940年(昭和15)3月号 馬酔木発行所 \* 3  
【愛用品など】  
文机、座椅子、籐製チェアー  
筆、万年筆、硯、パレット、水入れ、落款各種、小物各種  
能村登四郎胸像(81 T.UEKI 作か)  
能村登四郎アルバム(篠山紀信撮影)  
1991年(平成3)7月16日  
平成十四年俳句カレンダー(俳人協会・俳句文学館発行)  
執筆依頼回答葉書(戸板康二、鹿見島寿蔵筆)  
歌舞伎座プログラム 1988年(昭和63)  
芭蕉像  
登四郎の伯父山本安三郎(六丁子)が1922年(大正11)に  
作らせた36体のうちのひとつ  
第19回蛇笏賞賞状 1985年(昭和60)  
第1回市川市民文化賞賞状 1997年(平成9)  
以上の資料の無印は、能村研三氏提供  
\* 1 - 有田萌子氏提供  
\* 2 - 淵上千津氏提供  
\* 3 - 林みよ子氏提供  
\* 4 - 市川博物館友の会拓本部会提供

### 3 伊藤白潮の生涯と作品

#### 【色紙・短冊・軸装・額装作品】

色紙「むかしから曇る器の水水」  
色紙「みの虫の遊びをせんとや蓑を出で」  
色紙「風邪うつしうつされわれら聖家族」  
色紙「不退転とは春山の石のこと」  
色紙「おどろしきものを淑気と共に闇」  
掛軸「紅葉酔ひして誰よりも無口なり」 \* 1  
色紙「竹を伐る音としばらくして悟る」  
色紙「山晴れの十一月を口すすぐ」  
色紙「啓蟄の昼を過ぎぬし手足かな」

#### 【自筆資料】

伊藤白潮「季の扉 例句のない季語」自筆原稿  
『世界新報』1988年(昭和63)8月12日掲載  
伊藤白潮「父の死前後」自筆原稿  
伊藤白潮「旦過亭風信 110 万年筆派」自筆原稿  
『鳴』2008年(平成20)2月号掲載  
伊藤白潮宛能村登四郎書簡 1982年(昭和57)8月2日  
句集『在家』出版祝い  
「句帖」2種 1993年(平成5)～1994年(平成6)  
1997年(平成9)～1998年(平成10)

#### 【句集・コラム】

『在家』1982年(昭和57) 草韻新社  
『游』1984年(平成5) 角川書店  
『夢幻能』1985年(昭和60) 草韻新社  
『生きめやも』1997年(平成7) 角川書店  
『ちろりに過ぐる』2004年(平成16) 角川書店  
『卍 まんじ』2006年(平成18) 文學の森  
『季の扉』1997年(平成9) 牧羊社

#### 【その他創作資料・蔵書・愛用品など】

伊藤白潮「来歴のやうに一本冬の川」句碑除幕式・祝賀会  
リーフレット 2008年(平成20) 鳴俳句会  
里見公園句碑除幕式写真 2008年(平成20)6月19日  
『余白』創刊号 1968年(昭和43) 伊藤白潮  
『余白』1969年(昭和44)6月号 伊藤白潮  
『鳴』1951年(昭和26)4月号 鳴俳句会  
『鳴』1975年(昭和50)6月号 鳴俳句会  
『鳴』1990年(平成2)5月号 鳴俳句会  
『鳴』2005年(平成17)8月号 鳴俳句会  
『鳴』2008年(平成20)8月号 鳴俳句会  
『句会作品集』1992年(平成4) 自刊製本  
市川ゆかりの俳人の句集ほか  
眼鏡、万年筆、印箱、落款印、ベレー帽、ルーブタイ \* 1

伊藤白潮 手作り団扇 \* 1

以上の資料の無印は、伊藤白潮日蔵文学プラザ所蔵

\* 1 - 伊藤卓氏提供

### 4 登四郎水脈の俳人たち

#### 【水原秋櫻子】

掛軸「啄木鳥や落葉をいそぐ牧の木々」  
掛軸「かつしかやうき葉のしるきひとのかど」  
水原秋櫻子「能村君素描」自筆原稿  
『俳句』1968年(昭和43)3月号掲載

#### 【今泉宇涯】

短冊「画廊とは小春の色と光かな」  
今泉宇涯『跡』1957年(昭和32) 長谷川書房  
今泉宇涯『遊心』1985年(昭和60) 永田書房  
今泉宇涯『菜苑』1995年(平成7) 富士見書房

#### 【福永耕二】

短冊「あどけなき聲の二いろ木槿垣 耕二」  
拓本「落葉松を駆けのぼる火の鶯一縷」  
市川博物館友の会拓本部会制作 \* 1  
福永耕二『福永耕二 俳句・評論・随筆・紀行』  
1975年(昭和50) 安楽城出版  
福永耕二『踏歌』1997年(平成9) 邑書林

#### 【淵上千津】

淵上千津 短冊「逆立ちて雪折れ杉の青はげし」  
淵上千津『坪庭』1998年(平成10) 本阿弥書店

#### 【高瀬哲夫】

高瀬哲夫『遠景』1974年(昭和49) 牧羊社

#### 【松村武雄】

松村武雄『雪間』1993年(平成5) 書肆山田  
松村武雄『雪間以後』2003年(平成15) 同友館

#### 【渡辺昭】

渡辺昭『早春望野』1985年(昭和60) 牧羊社

#### 【能村研三】

色紙「朧濃し一生一郷棲まひかも」  
能村研三『騎士』1983年(昭和58) 鳩書房  
能村研三『海神』1985年(昭和60) 牧羊社  
能村研三『磁気』1997年(平成9) 角川書店  
能村研三『滑翔』2004年(平成16) ふらんす堂 \* 2  
能村研三『肩の稜線』2010年(平成22) 本阿弥書房

以上の資料の無印は、能村研三氏提供

\* 1 - 市川博物館友の会拓本部会提供

\* 2 - 宗左近旧蔵文学プラザ所蔵

## 5 市川の俳人たち

柴田白葉女 短冊「初秋の火をいきいきと山の奥」\* 1

柴田白葉女『冬椿』1949年(昭和24) 飛鳥書房

柴田白葉女『女流の俳句』1956年(昭和31) 河出書房

阿部篤人『俳句 四合目からの出発』

1967年(昭和42) 文一出版

岸風三樓『往来』1949年(昭和24) 高山書院

岸風三樓『往来以後』1982年(平成57) 角川書店

高橋謙次郎『あとの月日』1994年(平成6) 卯辰山文庫

高橋謙次郎『一本のいつもの木』

2008年(平成20) 角川書店

島村和菓子包装箱(水原秋櫻子句入) 高橋謙次郎関連資料)

以上の資料の無印は、文学プラザ所蔵

\* 1 - 能村研三氏提供

『文芸雑誌 海』1972年(昭和47)12月号 中央公論社

『墨 特集 小林一茶』1981年(昭和56)3月号

芸術新聞社

『一茶全集』第4~6巻 1976-78年(昭和51-53)

信濃毎日新聞社

栗山理一『日本詩人選19 小林一茶』

1970年(昭和45) 筑摩書房

中村六郎編『一茶選集』1928年(昭和3) 洛東書院

井上ひさしの小林一茶・俳句関連蔵書

井上ひさし『父と暮せば』台本

1995年(平成7) こまつ座\* 2

「父と暮せば」公演ちらし 2005年(平成7) こまつ座\* 3

「父と暮せば」公演案内 2008年(平成20) こまつ座\* 3

「父と暮せば」公演ダイレクトメール

2010年(平成22) こまつ座 \* 3

「父と暮せば」DVD

2004年(平成16) バンダイビジュアル \* 3

以上の資料の無印は、山形県川西町遅筆堂文庫所蔵

\* 1 - こまつ座提供

\* 2 - 市川市文化振興財団提供

\* 3 - 文学プラザ所蔵

## 6 永井荷風・幸田露伴と俳文芸

永井荷風 色紙「屋根船に残る火影やかへる雁 荷風」

年代未詳

永井荷風 色紙「初霞富士見る町の茶屋続き

於いく代亭 荷風醉画」年代未詳

永井荷風 色紙「うくひすや障子にうつる水の紋」

「荷風百句」1938年(昭和13)所収作

永井荷風 色紙「正月や宵寐の町を風の声」年代未詳

永井荷風『荷風句集』1948年(昭和23) 細川書店

川尻清潭『歌舞伎句集』

1956年(昭和31) 川尻清潭遺稿保存会

初山仁三郎『冬扇集』1954年(昭和29) 不易発行所

幸田露伴『評釈芭蕉七部集』1944-51年(昭和19-26)\* 1

以上の資料の無印は、永井永光氏提供

\* 1 - 市川市中央図書館所蔵

## 8 宗左近コレクション

宗左近『芭蕉のこころ』1998年(平成10) ほるぷ出版

宗左近『小林一茶』2000年(平成12) 集英社

宗左近『さあ現代俳句へ』1990年(平成2) 東京四季出版

『沖』1997年(平成9)6月号 沖発行所

宗左近の俳句関連蔵書

以上の資料の無印は、宗左近旧蔵文学プラザ所蔵

## 9 小島貞二コレクション

今泉宇涯・小島貞二ほか句会寄せ書き 1961年(昭和36)

「蛾落ちて墨のねばりに足搔きおり 宇涯」

「朝やけの富士大観の墨のいる 貞二」

小島貞二『どどいつの世界』

1994年(平成6) 江東区文化センター

『大衆文芸』1971年(昭和46)2・3月号 新鷹会

今泉宇涯『跡』1957年(昭和32) 長谷川書房

今泉宇涯『今泉宇涯俳句選集』

1991年(平成3) 富士見書房

以上の資料の無印は、小島貞二旧蔵文学プラザ所蔵

## 7 井上ひさしの戯曲「小林一茶」

「小林一茶」公演ポスター2005年(平成7) こまつ座\* 1

井上ひさし『小林一茶』台本 1990年(平成2) こまつ座

井上ひさし「小林一茶」創作ノート(複製)

1979年(昭和54)

井上ひさし『小林一茶』台本 1979年(昭和54) 五月舎

井上ひさし『小林一茶』初演プログラム

1979年(昭和54)11月 五月舎

『the 座 16 小林一茶』1990年(平成2)9月 こまつ座

『the 座 59 小林一茶』2005年(平成17)9月 こまつ座

## 10 能村登四郎と水木洋子

### 展示ケース1 五所平之助と水木洋子

- ・「五所亭句集」 1966年 牧羊社  
水木洋子宛献辞あり
- ・五所平之助水木洋子宛 葉書 1980年  
三島の病院で療養中の五所が水木洋子の NHK 銀河テレビ小説「もず」を見て送ったもの。主演の池内淳子について触れている
- ・五所平之助水木洋子宛 葉書 1951年  
東京新聞の記事を読んで・水木に脚本を頼む意向があったことがわかる
- ・『東京新聞』1951年8月16日  
映画の仕事で悟る水木洋子（三人の女流劇作家）

### 展示ケース 2 六代目菊五郎と新派

- ・『演劇界』1949年2月号  
水木の新作「風光」が掲載されているこの号に、1949年1月新橋演舞場での六代目菊五郎の舞台写真が掲載されていた
- ・『画報 現代史』第7集 1957年 国際情報社  
1949年7月亡くなった六代目菊五郎の記事あり
- ・「子を貸し屋」台本  
宇野浩二原作 水木洋子脚本  
1957年5月 新橋演舞場
- ・『新派五月公演』（筋書） 新橋演舞場  
水木洋子
- ・「子を貸し屋」自筆原稿
- ・『朝日新聞』1957年5月 日 切り抜き  
・ 花柳章太郎の水木洋子宛書簡  
1956年頃 「あらくれ」のシナリオに触れる

### 展示ケース 3 森雅之と加東大介

- ・「文学座」(プログラム) 1942年5月  
水木洋子は「黄塵」の劇評で森雅之の演技に注目していた
- ・「あにいもうと」スチール写真  
1953年 成瀬巳喜男監督（大映映画）  
森雅之は伊之吉を演じている
- ・「浮雲」スチール写真  
1955年 成瀬巳喜男監督（東宝映画）  
森雅之は富岡兼吉で「浮雲」でキネマ旬報主演男優賞、受賞
- ・「あらくれ」 スチール写真  
1956年 成瀬巳喜男監督（東宝映画）

- ・「あらくれ」本読みで  
森雅之と高峰秀子、後ろ姿は成瀬巳喜男
- ・「おとうと」 スチール写真  
1960年 市川崑監督（大映映画）  
父で毎日映画コンクール助演男優賞受賞
- ・「おかあさん」スチール写真  
1952年 成瀬巳喜男監督（新東宝映画）  
ブルーリボン賞助演男優賞 受賞
- ・「ここに泉あり」 スチール写真  
1955年 今井正監督
- ・「あらくれ」 スチール写真  
1956年 成瀬巳喜男監督（東宝映画）
- ・「竜馬がゆく」スチール写真（NHK）  
吉田東洋 勝海舟  
・ 加東大介の水木宛書簡

### パネル

- ・水木洋子と能村登四郎
- ・共通の友人 五所平之助
- ・二人が愛した六代目菊五郎
- ・大矢市次郎と花柳章太郎
- ・加東大介と森雅之

## 11 水木洋子人と仕事

### 展示ケース 4 逝ける水木脚本映画の名優たち

#### 小林桂樹(こばやし けいじゅ)

1923年11月23日～2010年9月16日

水木脚本作品

映画

1953年成瀬巳喜男監督「夫婦」菊子の兄茂吉  
1955年今井正監督「ここに泉あり」マネージャー井田  
1956年成瀬巳喜男監督「驟雨」隣の夫・今里念吉  
1956年本多猪四郎監督「夜間中学」夜の先生  
1958年堀川弘通監督「裸の大将」山下清

テレビ

1968年テレビ大河ドラマ「竜馬がゆく」NHK  
西郷吉之助の役で

2003年水木洋子死去の際、追悼文を寄せ、水木邸を訪問。

- ・「裸の大将」スチール写真  
1958年(昭和33)堀川弘通監督（東宝）
- ・成瀬巳喜男・水木洋子・との写真
- ・「ここに泉あり」スチール
- ・「夫婦」「驟雨」プログラム
- ・写真 小林桂樹・水木邸で語る

#### 長岡輝子(ながおか てるこ)

1908年1月5日～2010年10月18日

**水木脚本の作品**

**映画**

- 1953年今井正監督「にぎりえ」  
第2話「大つごもり」の資産家の後妻
- 1954年成瀬巳喜男監督「山の音」 菊子の姑
- 1956年成瀬巳喜男監督「驟雨」 幼稚園園長
- 1957年今井正監督「純愛物語」 聖愛女子学園園長
- 1959年今井正監督「キクとイサム」 尼さん

**テレビ**

- 1959年8月(9回)「風紋」NHK
- 1970年6月「星の夜のテラス」NHK
- 1972年10月「らっこの金さん」NHK

- ・「にぎりえ」スチール写真
- ・「山の音」スチール写真
- ・「純愛物語」スチール写真
- ・「純愛物語」プログラム 長岡輝子インタビュー

**展示ケース 5 逝ける水木脚本映画の名優たち**

**北林谷栄(きたばやし たにえ)**

1911年5月21日~2010年4月27日

**水木脚本の作品**

**映画**

- 1959年今井正監督「キクとイサム」しげ子婆さん  
毎日映画コンクール女優主演賞  
ブルーリボン賞女優主演賞
- 1961年吉村公三郎監督「婚期」婆や
- 1962年今井正監督「につぼんのお婆あちゃん」
- 1976年今井正監督「妖婆」産婆

**テレビ**

- 1969年10月(15回)「甘柿しづ柿つるし柿」  
TBS
- 1972年10月「らっこの金さん」NHK  
ギャラクシー賞受賞
- 1978年11月「こぎとゆかり」CBC
- 1981年11月(24回)「はまなすの花が咲いたら」  
TBS

- ・「クレオパトラ美容室」舞台写真1937年 創作座  
水木洋子処女作の舞台に研究生として出演
- ・「創作座」(パンフレット)
- ・「キクとイサム」スチール写真  
1959年 今井正監督 (大東映画)
- ・「キクとイサム」撮影現場で
- ・「婚期」スチール写真  
1961年 吉村公三郎監督 (大映映画)
- ・「につぼんのお婆あちゃん」スチール
- ・「らっこの金さん」台本 1972年 NHK

**池内淳子(いけうちじゅんこ)**

1933年11月4日~2010年9月26日

**水木脚本の作品**

**映画** 1964年豊田四郎監督の「甘い汗」  
伝法な口調のさばさばしたパーの女給さと子を好演。

**テレビ**

- 1969年10月(15回)「甘柿しづ柿つるし柿」TBS
- 1970年5月「五月の肌着」CBC
- 1970年6月「星の夜のテラス」NHK
- 1971年1月(26回)「みかんきんかん夏みかん」  
TBS
- 1972年10月「女王蜂と働き蜂」NTV
- 1974年4月(13回)「ひょうたん通り」YTV
- 1980年6月~20回「もず」NHK
- 1981年11月(24)「はまなすの花が咲いたら」  
TBS

**舞台**

1975年2月明治座で「甘柿しづ柿つるし柿」

- ・「五月の肌着」スチール写真
- ・「甘柿しづ柿つるし柿」スチール写真
- ・「銀河テレビ小説 もず」の台本
- ・「ひょうたん通り」記念写真
- ・「はまなすの花が咲いたら」写真
- ・明治座筋書き
- ・楽屋を訪ねた水木洋子

**展示ケース6**

- ・花柳章太郎が水木洋子に送った帯止め  
昭和32年5月とあり「子を貸し屋」記念に
- ・加東大介が水木洋子に贈ったバッグ

**展示ケース7**

- ・晩年愛用した上着と帽子

展示点数 合計 約433点 能村登四郎関連 自記資料 約30点 その他 約120点 林翔野連 自記資料 約11点 その他20点 伊藤白潮野連 自記資料 約14点 その他50点 井上ひさし関連 約30点 その他市川の文人関連 約60点
---

水木洋子関連 自筆原稿1 手紙2 葉書2 図書・台本5 雑誌パンフ10 新聞切抜き2 写真スチール等51 パネル21 衣服等4 計98点
---

その他 閲覧用図書・ファイル多数

\*色紙・掛軸などは資料保護のため、適宜、展示替えをします

○は10/23~1/13 は1/14~2/24

発行 市川市文学プラザ 市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター3階 047-320-3354